

Course number		U-LAS00 10018 LJ34					
Course title (and course title in English)		科学論Ⅰ Philosophy and History of Science I		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,AOYAMA TAKUO	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Philosophy(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Mon.5		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
本授業では、ある具体的なテーマに関し、科学が何を見いだしてきたか、そして、哲学では同テーマをどのように扱ってきたかを解説し、その比較を通じて科学の特性を理解していきます（担当教員の専門は哲学）。具体的なテーマとしてはとくに「自由意志」を取り上げ、それにまつわるさまざまな科学史・哲学史（とりわけホッブズ以降の約350年ほどの近現代哲学史）を参照していきます。「人間の意志ではなく脳が行為をさせている」といった、近年耳にする機会の多い言説が、どれだけの正当性を持っているのか、さらに、そもそもこの言説は何を「意味して」いるのか、こうした問いを掘り下げることで、科学論の一つの在りかたを提示します。							
[Course objectives]							
「自由意志」の科学と哲学をめぐる諸研究を知り、その論点を学ぶとともに、科学的研究の特性を、歴史をふまえて理解できるようになる。							
[Course schedule and contents]							
下記の5つのテーマに沿って、「科学とは何か」「自由とは何か」を考えます（授業の進行具合に応じて、どのテーマに何週をあてるかを変更する場合があります）。 1．ガイダンス：諸学問の特性について（第1週） 2．自由意志の科学と哲学#1（第2週～第5週） （リベットやメレなどの議論を紹介。） 3．因果関係と自然科学について（第6週～第9週） 4．自由意志の科学と哲学#2（第10週～第13週） （インワーゲンやケインなどの議論を紹介。） 5．総括と、担当教員自身の見解について（第14週） 第16週：フィードバック							
[Course requirements]							
None							
Continue to 科学論Ⅰ(2) ↓ ↓ ↓							

科学論Ⅰ(2)

[Evaluation methods and policy]

レポートにて成績を評価します。採点基準はやや厳しめで、講義内容を十分に理解しているかと、自分の考えを論理的に説明しているかを中心的に評価します。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

青山拓央 『時間と自由意志:自由は存在するか』(筑摩書房) ISBN:978-4480847454

[Study outside of class (preparation and review)]

授業前の予習はとくに必要ではありませんが、授業後の復習は十分に行なってください。

[Other information (office hours, etc.)]

教室収容人数に応じて、受講者を制限することがあります。授業での積極的な質問・発言を期待します。